

PRATAP BHANU MEHTA

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Indian academic, president of the Centre for Policy Research, a New Delhi-based think tank



Topics

- Economics
- Finance
- Politics

Pratap Bhanu Mehtaはインドの著名な学者であり、国際的に認められている政治および社会科学の学者です。彼はインドで最も著名なシンクタンクの1つであり、インド国家安全保障諮問委員会のメンバーである、政策研究センター、ニューデリーの会長です。以前はハーバード大学の客員教授でした。ハーバード大学で政府および社会科学の准教授、ジャワハルラーネルー大学で哲学および法と統治の教授。ニューヨーク大学ロースクール、ペンシルバニア大学ロースクール客員教授。

彼はまた、以前はインドの国家知識委員会の首相の加盟者であり、最高裁判所の加盟国は、インドの大学の選挙に関する委員会を任命しました。彼は、世界銀行、UNRISD、DFIDなど、主要なインド政府や国際機関に関する多数の論文やレポートを執筆しています。彼はIDRCの理事会のメンバーでした。世界経済フォーラムのグローバルガバナンス評議会の副議長を務め、またNIPFP、NCAERおよびNIIDの理事も務めました。

Mehtaは、2010年の社会科学への貢献、2011年の政治科学への貢献、および2013年のAmartya Senの社会科学賞を受賞したMalcom S. Adishehshiah賞を受賞しています。インフォシス賞の審査員Amartya Senが議長を務め、次のように引用したPratap Bhanu Mehta博士は、インドの最も優れた学者であり、公の精神の一人としての地位を確立した。

現在Mehtaは、国際開発研究評議会、IDRCの理事会、および国立財政公政策研究所を含む他の多数の学術機関の委員です。彼はまた、WEFのグローバルガバナンス評議会のメンバーです。

彼は公共政策の議論に多用されている参加者であり、いくつかの出版物によってインドの主要なオピニオンメーカーの一人として名付けられています。American Political Science Review、Journal of Democracy、India and Global Affairsなどのジャーナルの編集委員を務めています。彼は重要なジャーナルに多数の学術論文を発表し、編集したボリュームを編集しました。彼の初期の作品は18世紀の思想、特にアダム・スミスとメイキング・オブ・エンライトメントについてでした。彼はまたコスモポリタニズム、自由主義、権利、司法審査、国際統治と民主主義理論の問題について書いた。彼の最近の出版物には、「民主主義の重荷」（2003年）、および編集巻「インドの公的機関」（2005年）があります。また、'Non-Alignment 2.0' 2013を作成したグループのメンバーで、'Shaping the Emerging World: India and Multilateral Order' 2013の共同編集者です。彼はまた「インドの政治に対するオックスフォード・コンパニオン」（2010年）の共同編集者でもあります。

彼はIndian Expressの編集コンサルタントであり、ヒンズー教徒やフィナンシャルタイムズを含む国内外の日刊紙のコラムを執筆しています。彼のコラムは経験的厳密性への関心を示しています。

Mehtaはオックスフォード大学（セントジョンズ大学）で哲学、政治および経済学の学士号を取得しています。プリンストン大学で政治学博士号を取得。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988